

事業区分	経常研究(基盤)	研究期間	昭和 50 年～	評価区分	途中評価
研究テーマ名 (副題)	農業気象調査 (気象観測を行い、農作物の生育及び病害虫の発生予察等の基礎資料とする)				
主管の機関・科(研究室)名 研究代表者名	長崎県農林技術開発センター 研究企画室 船場 貢				

<県長期構想等での位置づけ>

長崎県総合計画	2. 産業が輝く長崎県 (4)力強く豊かな農林水産業を育てる ⑦基盤技術の向上につながる研究開発
新科学技術振興ビジョン	(1)基盤技術プログラム
ながさき農林業・農山村活性化計画	I 農林業を継承できる経営体の増大 2 業として成り立つ所得の確保 ・生産量の増大・安定による農林業者の所得向上

1 研究の概要(100 文字)

気象観測と気象データの解析を行い、農作物の生育と収穫、病害虫の発生予察等の研究の基礎資料とする。	
研究項目	①気象観測

2 研究の必要性

1) 社会的・経済的背景及びニーズ 農作物の生育は気象に大きく影響を受ける。農作物の生育状況を正確に把握するためには、農作物の試験研究で気象観測は欠かせない。また、気象災害が起こった場合には、正確な気象情報が求められる。
2) 国、他県、市町、民間での実施の状況または実施の可能性 作柄解析は、栽培圃場と気象観測地が近接していないと、正確な解析ができないため、各県試験場で気象観測を実施している。

3 効率性(研究項目と内容・方法)

研究項目	研究内容・方法	活動指標	H					単位	
			20	21	22	23	24		
①	気温、湿度、降水量、風速、日照時間、日射量、地温	7	目標	7	7	7	7	7	
			実績	7	7				

1) 参加研究機関等の役割分担

2) 予算

研究予算 (千円)	計 (千円)	人件費 (千円)	研究費 (千円)	財源			
				国庫	県債	その他	一財
全体予算	4,729	2307	2422				
20年度	959	459	500				500
21年度	962	462	500				500
22年度	936	462	474				474
23年度	936	462	474				474
24年度	936	462	474				474

※ 過去の年度は実績、当該年度は現計予算、次年度以降は案
人件費は職員人件費の見積額

(研究開発の途中で見直した事項)

4 有効性

研究項目	成果指標	目標	実績	H					得られる成果の補足説明等
				20	21	22	23	24	
①	作柄解析 情報提供	2 2	4	4	4				作柄解析(水稻、麦) 情報提供(農業共済、HP)

1) 従来技術・先行技術と比較した新規性、優位性
なし

2) 成果の普及

■これまでの成果

水稻生育予測システムの開発: 水稻の生育と適作型を予測。

水稻「にこまる」の安定栽培技術の確立: 出穂後の平均気温と白未熟粒の発生関係を解明した。

作況状況報告: 各作物の当該年次の生育を気象情報を基に解析し、関係機関へ情報提供。

※気象データを活用する実施中の研究課題例

- ・地球温暖化が農業分野に与える影響評価と適応技術の開発(国庫受託、H22～24)
- ・農業分野における温暖化緩和技術の開発(国庫受託、H22～24)
- ・稲・麦・大豆奨励品種決定調査(経常、S28～)
- ・水田機能・生産要因改善(S46～)

■研究成果の社会・経済への還元シナリオ

- ・気象・作柄情報を発信することで、効率的で生産性の高い農業活動に寄与する。
- ・気象要因を踏まえた農作物栽培技術等の研究成果情報を生産現場へ提供する。

■研究成果による社会・経済への波及効果の見込み

(研究開発の途中で見直した事項)

種類	自己評価	研究評価委員会
事前	(年度) 評価結果 (総合評価段階:) ・必要性 ・効率性 ・有効性 ・総合評価	(年度) 評価結果 (総合評価段階:) ・必要性 ・効率性 ・有効性 ・総合評価
	対応	対応
途中	(22年度) 評価結果 (総合評価段階: A) ・必要性 A 農作物の生育は気象に大きく影響を受ける。農作物の生育状況を正確に把握するためには、農業気象観測は欠かせない。また、気象災害が起こった場合には、正確な気象情報が求められる。 作柄解析は、栽培圃場と気象観測地が近接していないと、正確な解析ができないため、各県試験場で気象観測を実施している。 ・効率性 A 調査内容は、気温、湿度、降水量、風速、日照時間、日射量、地温で、効率的にデータ収集を行っている。 ・有効性 A 得られたデータを基に、水稻、麦等の作柄解析を行い、農業共済やホームページに情報提供を行っている。 ・総合評価 的確な気象情報を発信することで、効率的で生産性の高い農業活動に寄与している。	(22年度) 評価結果 (総合評価段階: 同左) ・必要性 同左 ・効率性 同左 ・有効性 同左 ・総合評価 同左
	対応	対応 国補助事業「指定試験事業」廃止に伴う育種予算確保のため、研究事業の見直しを行い、本研究課題については研究課題から外し、管理運営費で実施していく。
事後	評価結果 (総合評価段階:) ・必要性 ・効率性 ・有効性 ・総合評価	(年度) 評価結果 (総合評価段階:) ・必要性 ・効率性 ・有効性 ・総合評価
	対応	対応